

# 千葉県第1種サッカー選手権大会 決勝戦

2017年2月26日(日) 13:00 kickoff 姉崎サッカー場

江戸川大学 0(0-0、0-0)0 城西国際大学

(PK5-4)

R:金次 雄之介氏 A1:松田 卓磨氏 A2:森田 秀一氏 4th:新田 孝之氏 (文中敬称略)



(左から 森田氏、新田氏、金次氏、松田氏)

## Q.決勝審判員表彰が初めての方は??

金次: (森田さんに)初めてでしょ?

森田: いや、1度金次さんと一緒に組んで表彰されています(笑)

金次: そうだったっけ(笑)? 忘れてた。すみません…。

新田: 私は初めてだったので嬉しかったです。このような素晴らしい試合ができたのも日頃、皆様のアドバイスやご指導のお陰であると感謝しております。本当に有難うございます。

## Q.初めての決勝はいかがでしたか?

新田: 両チームともベンチマナーが良かったのでありがたいと思いました。しかし、4th審判員としては赤点のようでした。次回同じことを決して繰り返さないよう反省内容をマイノートにまとめ再確認できるようにしました。

## Q.今は試合が少ない時期ですが、皆さんどのように過ごしていますか?

金次: あまりオフを作らないようにしています。試合が多い時期は木曜日にピークを持ってトレーニングを行っていますが、少しこの時期はそのピークをズラしています。

松田: 高強度のトレーニングをオンシーズンには平均して週1~2日行いますが、それをオフシーズンには3~4日に増やしたりしています。

森田: ジムには月から金曜日まで行っていますが、それとは別に火水木は走っています。通年通して特に変わらないペースで行っています。

新田: 息子が卒業したクラブチーム、高校や他県の知り合いにお願いしてトレーニングマッチをやらせてもらったりしています。

## Q.なぜ、頑張れるのですか?

金次: 自分では頑張っているとは思っていません。“やらなきゃいけないもの”という感じですね。

松田: 自分の中のビジョンがあるからですかね。何年か先に“こうなっていたい”“このステージにいたい”というものがあるからです。

森田: 自分はスポーツが好きなので。動くこと自体が好きなので、夜のジムも好きなんです。

新田: 興味があり楽しいからです。

**Q.今日の試合を通して、一番印象にあること、またお互いに伝えたい事があれば**

金次： 松田さんに何度かファウルサポートをしてもらいました。

松田： “アシスタント”レフェリーですから、レフェリーにとって必要なアシストをする、副審としてやるべきことをしたまでです。

森田： 自分がレフェリーに入っていたらどこを見てサポートしてほしいかを1試合通してずっと考えていました。金次さんと組める機会はそうそうないので、この試合から学び取れるものを絶対に得ようと取り組んでいました。僕にはまだ多くのものが足りないなので、それを認識し先輩方の背中に追いつかれるように取り組んでいきたいと思っています。

新田： 4人が共通意識で仲間(家族?)として試合に臨み、試合中サポートし合い、また試合後皆で次の試合にいかせられるよう意見交換をしていくことだと思っています。

**Q.今年度の抱負は？**

金次： 頑張ります！

森田： 去年は4月から活動ができなかったので、1年通して活動が継続できるようにしたいです。

松田： 選手のために、サッカーのために、もっとサッカー競技を理解する。その先に何か見えてくるものがあるはずです。

新田： 例え、各カテゴリーのトレーニングマッチであっても選手は真剣です。1試合、1試合精一杯審判に取り組んでいきます。今後も皆様からのいままで以上のご指導をお願いします。

## ～ 2017シーズン開幕前研修会 ～

心地よい春の日差しが降り注ぐ中、3月12日(日)に県内のサッカー2級及び3級審判員とインストラクターを対象とした開幕前研修会が、順天堂大学さくらキャンパスにて開催されました。

2017年度より、CFA審判委員会の組織を大幅に改変し、それに伴って活動内容も変わってくるため、審判委員会のビジョン、活動の大まかな内容が山岸委員長以下、各部長より発表され、その後並木サッカー統括部長より『県内で審判活動(指導も含む)する上で大切にしていきたいこと』、堀川強化部長より『正しい判定力を身につけるために』と題してそれぞれ講義、グループディスカッション、発表等が行われました。

その後、審判員はグラウンドに移動して、新方式のインターバルテストに臨み、全員がケガなく基準をパスしました。終了時には山岸委員長を中心に全員でハイタッチを行い、新シーズンの健闘を誓いあいました。

